

## 指定管理者制度活用事業 評価シート

### 1. 基本事項

施設名称	川崎市黒川青少年野外活動センター	評価対象年度	平成27年度
事業者名	・事業者名 特定非営利活動法人 国際自然大学校 ・代表者名 理事長 佐藤 初雄 ・所在地 東京都狛江市岩戸北4-17-11	評価者	青少年支援室長
指定期間	平成26年4月1日 ~ 平成31年3月31日	所管課	こども未来局青少年支援室

### 2. 事業実績

利用実績	①年間延べ利用者数 30,439人 (平成26年度:29,386人)	②年間延べ利用団体数 846団体 (平成26年度:849団体)																										
収支実績	<table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 60%;">1 収入</td> <td style="text-align: right;">単位:円</td> </tr> <tr> <td>    指定管理料</td> <td style="text-align: right;">24,854,727</td> </tr> <tr> <td>    その他収入</td> <td style="text-align: right;">8,956,545</td> </tr> <tr> <td>    合 計</td> <td style="text-align: right;">33,811,272</td> </tr> <tr> <td>2 支出</td> <td></td> </tr> <tr> <td>    人件費・賃金</td> <td style="text-align: right;">20,717,028</td> </tr> <tr> <td>    光熱水費</td> <td style="text-align: right;">1,232,483</td> </tr> <tr> <td>    委託費</td> <td style="text-align: right;">2,596,302</td> </tr> <tr> <td>    消耗品費</td> <td style="text-align: right;">5,739,332</td> </tr> <tr> <td>    修繕費</td> <td style="text-align: right;">909,997</td> </tr> <tr> <td>    その他経費</td> <td style="text-align: right;">2,403,667</td> </tr> <tr> <td>    合 計</td> <td style="text-align: right;">33,598,809</td> </tr> <tr> <td>3 差引</td> <td style="text-align: right;">212,463</td> </tr> </table>		1 収入	単位:円	指定管理料	24,854,727	その他収入	8,956,545	合 計	33,811,272	2 支出		人件費・賃金	20,717,028	光熱水費	1,232,483	委託費	2,596,302	消耗品費	5,739,332	修繕費	909,997	その他経費	2,403,667	合 計	33,598,809	3 差引	212,463
1 収入	単位:円																											
指定管理料	24,854,727																											
その他収入	8,956,545																											
合 計	33,811,272																											
2 支出																												
人件費・賃金	20,717,028																											
光熱水費	1,232,483																											
委託費	2,596,302																											
消耗品費	5,739,332																											
修繕費	909,997																											
その他経費	2,403,667																											
合 計	33,598,809																											
3 差引	212,463																											
サービス向上の取組	野外活動に関する知識や技術が豊富な職員が指導にあたり、満足度の高い経験や世代間交流、地域交流の場を作るなど、事業の充実を図っている。 また、アンケート等により利用者のニーズを捉え、優先度の高いものから対応策を計画、実施している。																											

### 3. 評価

分類	項目	着眼点	配点	評価段階	評価点
利用者満足度	事業推進	施設の目的に合った事業が実施されているか	5	3	3
		計画どおり事業が実施されているか			
	事業成果	事業成果として利用者数に増加傾向がみられるか	5	4	4
	(評価の理由)	施設の目的に沿って、野外活動に関する専門性を活かし、概ね計画どおりに事業を実施している。 主催事業の開催にあたり、スタッフ配置や施設の活用方法を工夫して多くの事業で定員を上回り、事業を推進した。 利用者数は昨年度より3.6%増加し、第2期指定管理時と比較して10.4%の増となった。 【参考】第2期指定管理時(平成21年度～平成25年度)年度平均利用者数:27,106人			
収支計画・実績	適切な金銭管理・会計手続	適切な会計処理がされているか	5	3	3
	効率的・効果的な支出	計画に基づく適切な収入が確保されているか	10	3	6
		計画に基づく適切な支出がなされているか			
		支出に見合う効果が得られているか			
効率的な執行等、経費縮減の具体的な取組がなされているか					
	(評価の理由)	仕様に基づき、適正な会計処理が行われた。 主催事業の参加者増による消耗品費、水道光熱費の増額等があるが、全体の収入の範囲で納めている。			

サービス向上及び業務改善	施設・事業の広報	施設や事業が積極的に広報されているか	5	4	4
		広報の方法に工夫が見られるか			
	利用者への対応	利用者に対する接遇が適切にされているか	10	3	6
	学校及び行政機関との連携	事業実施に当たり学校や行政等と連携が図られているか	10	4	8
	利用者ニーズ	利用者ニーズの把握がされているか	10	4	8
		把握したニーズが事業運営へ反映されているか			
<p>(評価の理由)</p> <p>分かりやすいホームページで更新も頻繁に行い、また、ブログでは写真を多く掲載しながら日々の活動の様子をリアルに伝えるよう努めており、各イベントの周知が図られ申込者が定員を超える事業も多くなっている。</p> <p>利用者に対する接遇について、適切に対応している。</p> <p>事業実施に当たり近隣の小中学校の受け入れを積極的に言い、また町内会の会合や防災訓練への参加、地域企業の休日に駐車場を利用させていただくなど、地域との連携、協力が図られている。</p> <p>日頃から利用者とコミュニケーションをとり、気軽に利用者が意見を寄せられるような関係づくりに努め、利用者アンケートなどの意見、要望を把握し、優先度の高いものから事業に反映させ、廃材を利用したベビーベッドの作成などを実施している。</p>					
組織管理体制	適正な人員配置	利用人員等を考慮し、事業実施に必要な人員が配置されているか	10	4	8
		事業の目的を考慮した適正な職員が採用されているか			
	職員の研修体制	職員のスキルアップを図るために必要な研修等が実施されているか	5	3	3
	個人情報等の取扱	個人情報保護の法令遵守のルール(規則・マニュアル等)と管理・監督体制が整備され、適切な運用が為されているか	5	3	3
<p>(評価の理由)</p> <p>計画どおり適正な人員が配置され、所長を始め十分な経験と専門知識のある人材を活用している。</p> <p>専門的な技術とスキルの向上を図るため、予定どおりの研修が実施された。</p> <p>個人情報の取扱いについて、適切な運用を行った。</p>					
適正な業務実施	施設・設備の保守管理	安全な利用に支障をきたすことのないよう、施設・設備の保守点検や整備等を適切に実施しているか	5	4	4
		利用者の安全確保			
	防犯対策	施設等の防犯のための工夫がされているか	5	4	4
		緊急時のマニュアル等が整備されているか			
	災害への対応	避難訓練や消防訓練が適正に実施されているか	5	4	4
		災害発生時のマニュアル等が整備されているか			
<p>(評価の理由)</p> <p>日々の清掃時間の中で点検を行い、修理等早急な対応をしている。また、大掛かりになる作業等は月1回作業日を定めて行き、適正な維持管理をしている。</p> <p>利用者への安全対策として、手洗い、うがいの励行、AED講習会、雷検知器、熱中症計の導入による予防策等を行い、事故等を未然に防止している。</p> <p>防犯対策として、職員の判別ができるようユニフォーム、名札の着用を徹底し、緊急時対応のための応急処置に関する講習を職員全員が受講している。</p> <p>災害発生時のマニュアルが整備されており、法定訓練のみならず、町内会と連携した訓練も実施していた。また、災害時に備え、食料、飲料数を確保している。</p>					

注) 配点×(評価段階/5)=評価点

#### 4. 総合評価

評価点合計	71	評価ランク	B
-------	----	-------	---

注) 評価点:100点満点。評価ランク:5段階評価  
A(80点以上):特に優れている、B(70点以上80点未満):優れている、  
C(60点以上70点未満):適正である、D(50点以上60点未満):改善が必要である、  
E(50点未満):問題があり適切な措置を講じる必要がある

#### 5. 事業執行(管理運営)に対する全体的な評価

ホームページの活用など広報の充実にも努めるとともに、黒川の地域性と専門知識を活かして、幼児親子向け事業を始めとする既存の事業に工夫を加え、より利用者ニーズに対応した企画・事業推進を図っている。  
また、学校、行政、町内会や大学、近隣企業との連携を図り、地域により一層溶け込んで事業を推進した。

#### 6. 来年度の事業執行(管理運営)に対する指導事項等

引き続き、多くの市民に黒川の自然の中での野外活動等を体験してもらえ環境を維持するとともに、職員研修等により専門性のスキルをさらに向上させ、利用者ニーズに沿った事業を展開してほしい。